

1270 | 工芸工業デザイン基礎 I

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

田中克明教授、牧野良三教授、十時啓悦教授、鈴木洋教授、西川聡教授、鈴木純子准教授、桜井隆樹講師、山本博一講師、萩原千春講師、高橋勇一郎講師

授業の概要と目標

この科目は、工芸工業デザイン学科において最初に学習する造形専門科目となっている。学科の必修科目ではあるが、スペースデザインコースと生活環境デザインコースプロダクトデザイン系は同じ題材に取り組み、生活環境デザインコースクラフトデザイン系各クラスにはこの科目から各素材別課題に取り組み、つまりここから、各自が目指す専門の学習に入る。スペースデザインコースと生活環境デザインコースプロダクトデザイン系の同じ題材とは、スペースと生活環境、いいかえれば空間とモノ、それぞれの立場で同じ題材に取り組みをいう。そうすることで、各自が、両者の関係性について包括的に考え、広い視野を獲得することを期待する。

※なお、生活環境デザインコースクラフトデザイン系の金工クラス、木工クラスについては、平成 28 年 4 月以降の入学生は選択不可。平成 27 年 10 月以前の入学生については選択可能だが、当該クラスの開講は平成 30 年度までとなるので注意すること。

課題の概要

課題はスペースデザインコースと生活環境デザインコースに分かれ、生活環境デザインコースはプロダクトデザイン系、クラフトデザイン系の各素材別クラスに分かれて行う。

〈スペースデザインコース〉

通信授業では自宅周辺のミニパークを選定し、その利用実態や空間の機能を調査分析する。周辺環境との関係、自然の在り方、地域にとっての価値およびその可能性なども考察し、マップやスケッチでレポートを提出する。面接授業では、地域の環境の中で求められる空間の在り方を重視した公園のプランニングおよびデザインングについての実習を行う。面接授業内では、事例の見学を予定している。（見学は初日の午後に実施される場合もある。初日の前提講義内で説明予定。）

〈生活環境デザインコース〉

プロダクトデザイン系

通信授業では自宅周辺のミニパークを選定し、その設備や空間プラン、地域的な役割や利用状況を観察・調査・分析して、マップやチャートで提出する。面接授業では作成した資料を基に主に設備や機器をデザインする。

クラフトデザイン系

・テキスタイルクラス

面接授業において、写真撮影によるテーマ対象となる素材の収集。触覚とサーフェイスというテーマのもとに、素材をイメージ化し、織りによるテクスチャー表現研究を行う。通信授業では、写真撮影によるテーマ対象となる素材の収集。素材を無彩色、及び有彩色によるイメージ化をし、テキスタイルとしての使用例を提案する。

・陶磁クラス

通信授業では板づくり技法による器物と装飾に関する調査をし、まとめる。それを参考にして、板づくり技法と印と象嵌による装飾を施した日常的な用途の器物のアイデアスケッチをする。

面接授業では、アイデアスケッチを基に、さらにデザインを検討して板づくり技法と印と象嵌による器物を制作する。

・金工クラス ※平成 28 年 4 月以降の入学生は選択不可

面接授業において、銅板を材料とし鍛金による蓋付き容器の制作をする。通信授業では、面接授業で制作した蓋に糸ノコで透かし模様を施し提出する。

- ・木工クラス ※平成 28 年 4 月以降の入学生は選択不可

椅子の実測製図とスツールの制作

- ・面接授業では、椅子の実測製図とスツールの制作を行い、木工製品の製図の基本を学習し、製図と実際の制作との関係、製図と加工方法の基礎を学習する。
- ・通信授業課題では名作椅子の調査・分析を行いレポートに纏める。

* 課題については学習指導書『工芸工業デザイン基礎 I・II 平成 29 年度』を必ず参照すること。

授業計画

生活環境デザインコース

プロダクトデザイン系

クラフトデザイン系

陶磁クラス

スペースデザインコース

[面接授業]

各コース、クラスにわかれて面接授業の出題及び説明が行われる。

スペースデザインコース、生活環境デザインコースプロダクトデザイン系ではミニパークをテーマに課題に取り組み最終日に発表、講評となる。

生活環境デザインコースクラフトデザイン系素材別各クラスではそれぞれのクラスで設定された課題で実材による作品制作を行い、最終日講評となる。

通信授業



面接授業

生活環境デザインコース

クラフトデザイン系

(陶磁クラス以外)

面接授業



通信授業

[通信授業]

●生活環境デザインコースプロダクトデザイン系、クラフトデザイン系・陶磁クラス、スペースデザインコース

学習指導書をよく確認し、制作すること。課題は面接授業初日に必ず持参すること。

●生活環境デザインコースクラフトデザイン系(陶磁クラス以外)

面接授業をふまえ、それぞれのコース、クラスごとにデザイン作業を完成させ提出する。

詳細は面接授業最終日に説明する。

成績評価の方法

面接授業と通信授業の総合評価。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3 年次

[履修条件] 「プロダクトデザイン I・II」または「インテリアデザイン I・II」の単位を修得していること(工芸工業デザイン学科 3 年次編入学生を除く)。

[備考] 工芸工業デザイン学科各コース 3 年次必修科目。

クラフトデザイン系の素材別クラスを選択する場合は、1・2 年次において素材別基礎実習 I・II における、同素材実習を履修していることが望ましい。

教材等

教科書：横溝健志、田中克明編『生活環境デザイン』（武蔵野美術大学出版局 2003 年）

小石新八 監修『スペースデザイン論』（武蔵野美術大学出版局 2003 年）

横溝健志、小石新八 編『ドローイング・モデリング』（武蔵野美術大学出版局 2002 年）

横溝健志 監修『工芸』（武蔵野美術大学出版局 2002 年）

田中秀穂 監修『テキスタイル 表現と技法』（武蔵野美術大学出版局 2007 年）

小松誠 監修『陶磁 発想と手法』（武蔵野美術大学出版局 2009 年）

十時啓悦 監修『木工 樹をデザインする』（武蔵野美術大学出版局 2009 年）

学習指導書：『工芸工業デザイン基礎 I・II 平成 29 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）